

# マップAの趣旨説明

2019年6月6日

人工知能学会  
AIマップタスクフォーラム

森川 幸治

# AI技術って？

AI技術は様々な定義がありますが、その一つは

「人間が行っている知的な処理を実現する技術」

というものがあると思います。

人間はどんな処理フローで知的と思われる処理をしているのでしょうか？

# The seven stages of action

ノーマンは知的な処理を、認知科学的に7つのステップに整理しました。

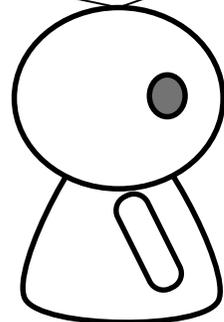
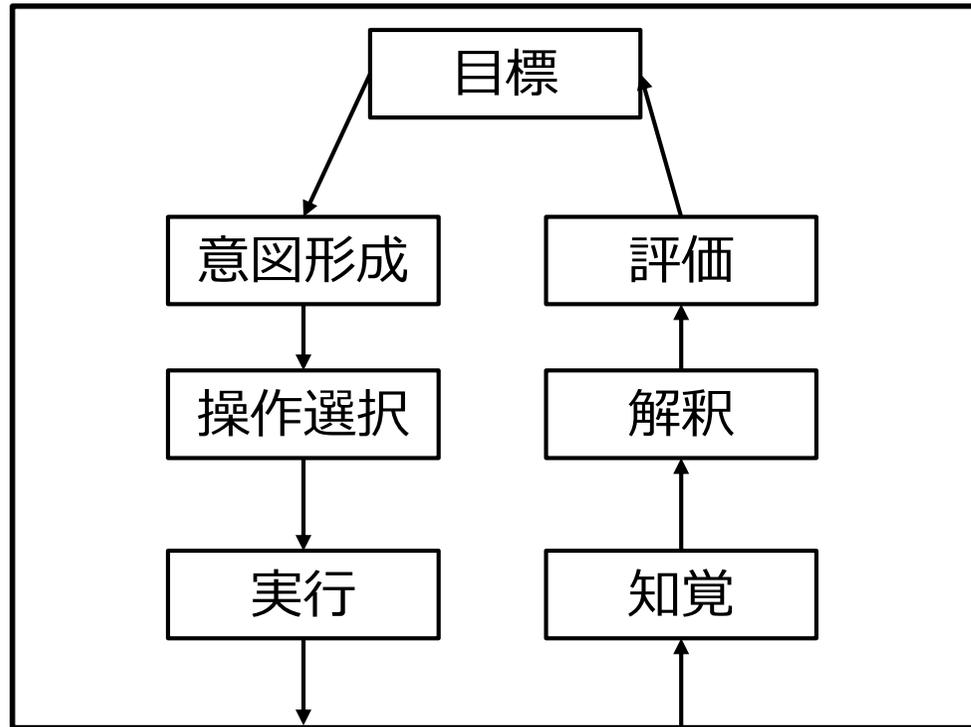
D. A. ノーマン著 野島 久雄 (翻訳)

誰のためのデザイン？ 認知科学者のためのデザイン原論 (新曜社 1990)

Donald A. Norman

The Design of Everyday Things (1988)

# 行為の七段階モデル



知覚： 周りの情報を目や耳から得る

解釈： 認識する

評価： その意味などを理解する

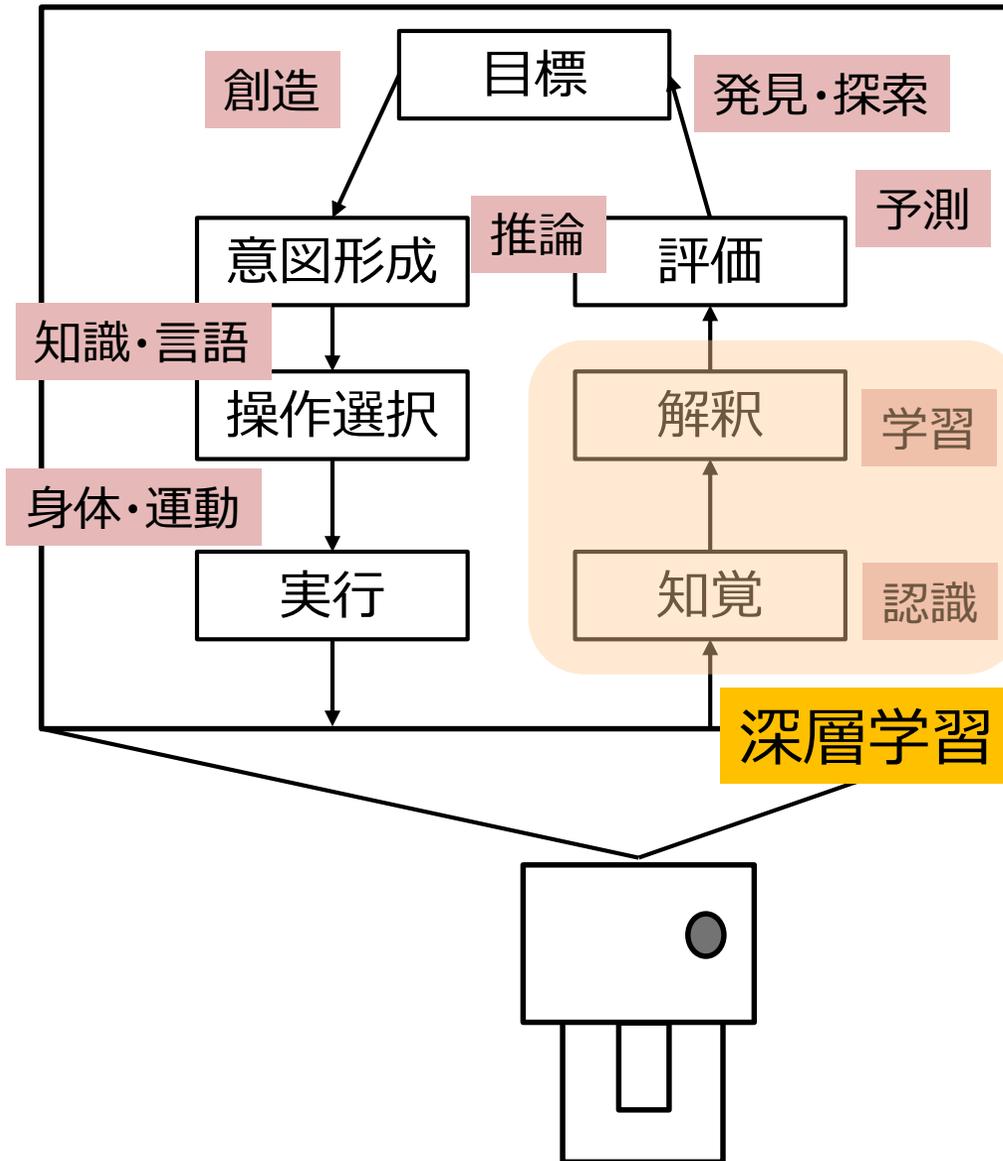
目標： 目標を設定

意図形成： 何をするかを定める

操作選択： どのようにするかを定める

実行： 実際に体を動かす  
(声を出すとかも含めて)

# 各ステップはAI技術に対応可能

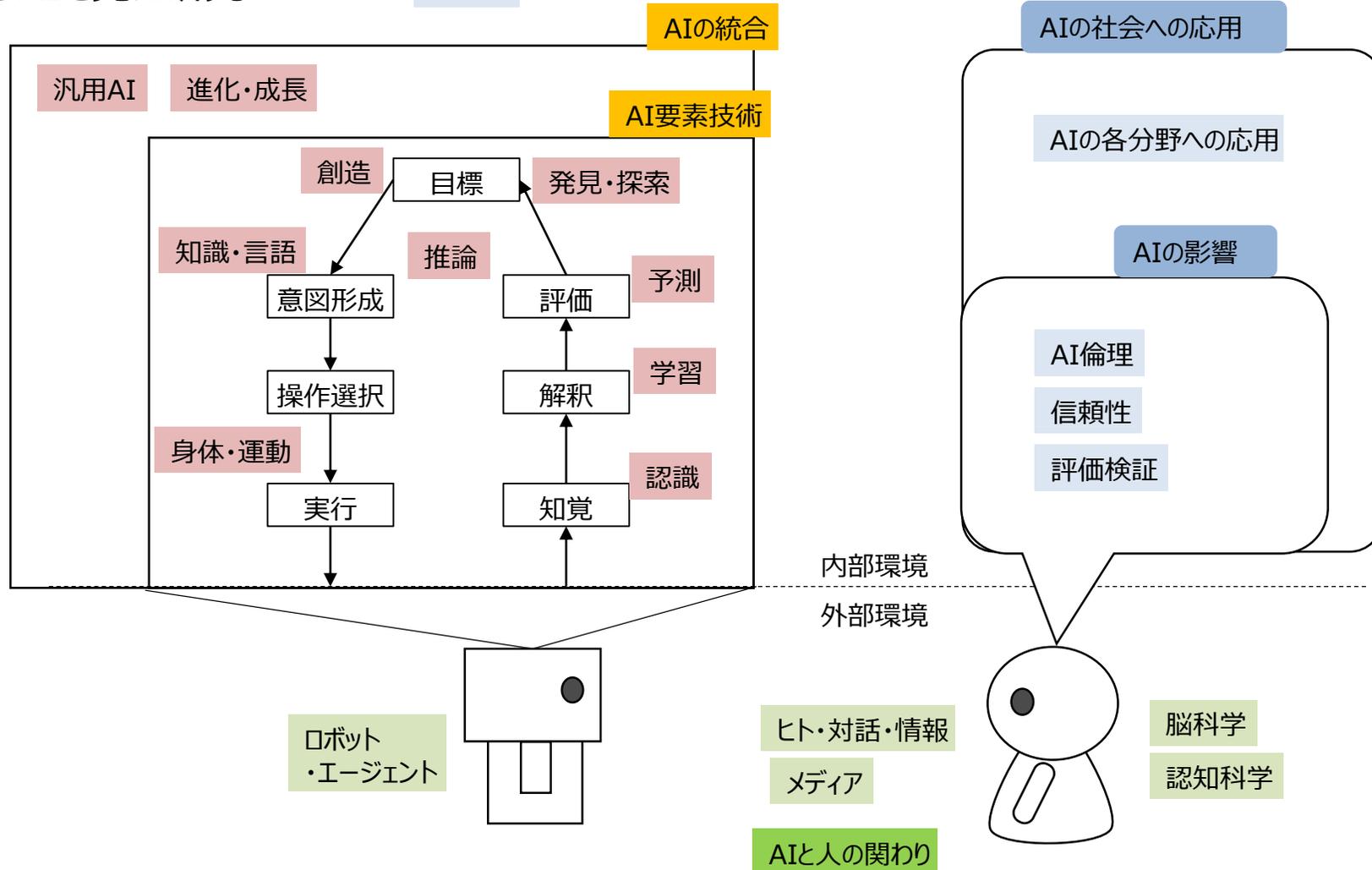


知覚や解釈の部分は、「認識技術」に対応させられます。

例えば  
深層学習の初期のアプリケーションは画像認識、この部分からスタートして  
いろんな能力を付与させるための  
研究が進められています。

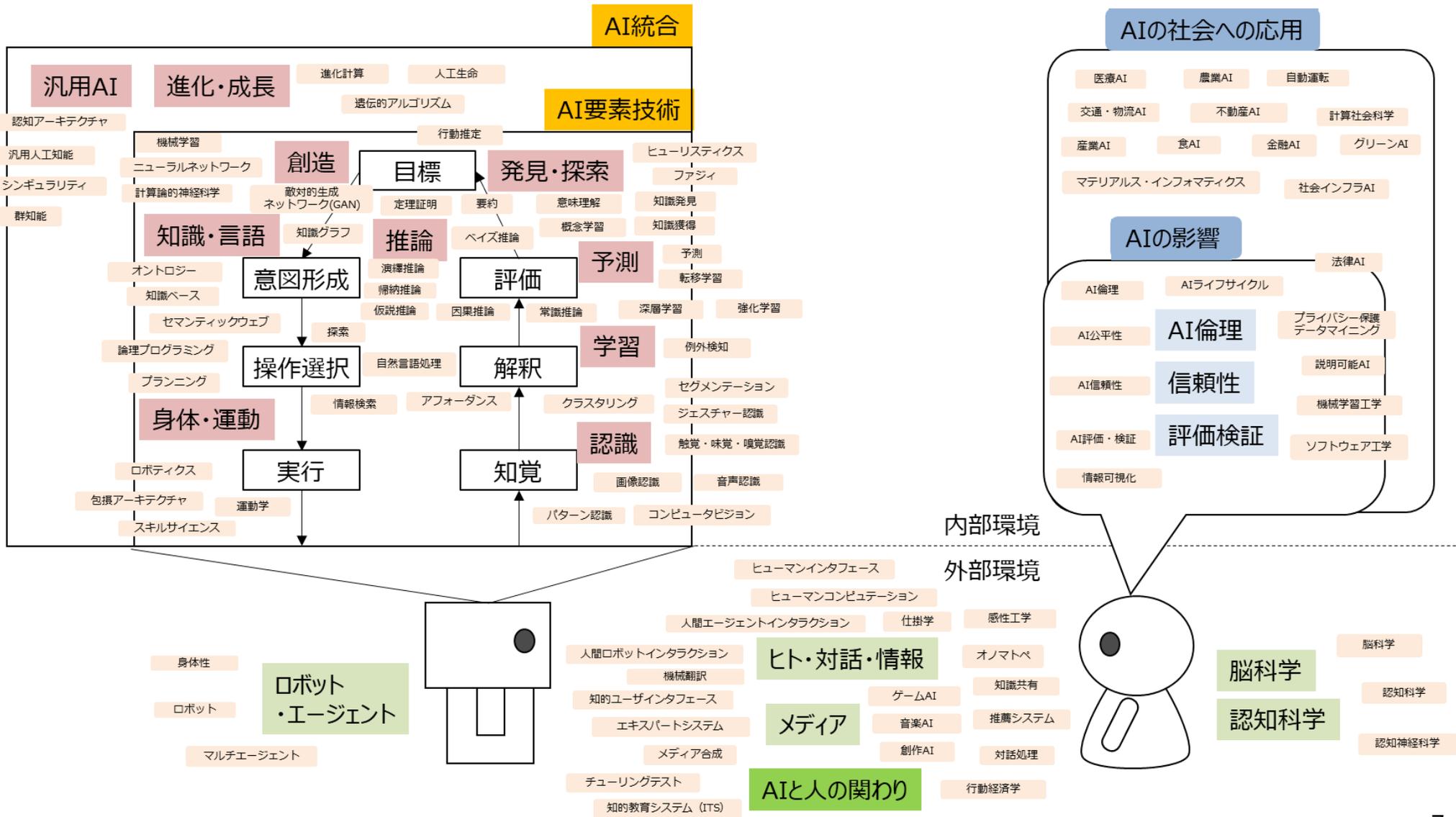
# AI研究はその外側にもあります

- 知能を実現する研究
- 人と、エージェントの研究
- 人からAIを見た研究



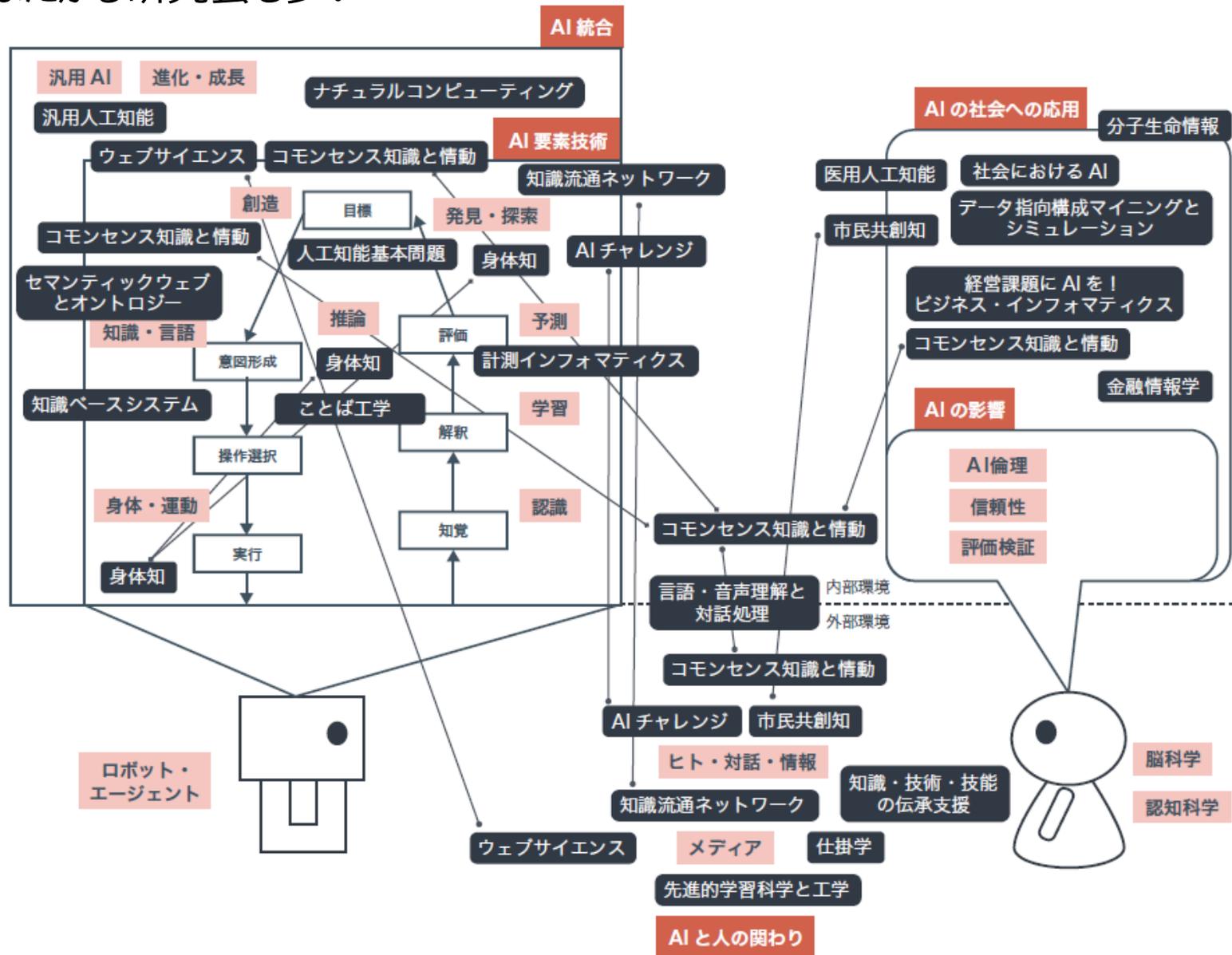
# AI技術をプロット

AIの各技術を          でプロット



# 研究会もプロット

複数の領域にまたがる研究会も多い



ありがとうございました